



はぴネット

岩槻区市民活動ネットワークだより 第18号 2021年3月



新しい仲間が加わりました！



● 岩槻むかしばなし 紙芝居の会

「紙芝居」で岩槻の歴史や文化を見て・聞いて・楽しんでいただける会です。15分前後の作品が15作品、高校生あ手製「もうかりやつこの贈り物（黒奴行列）」から、内田茂氏の「加倉の怪火」や「慈恩寺の七不思議」など幅広く。出前講座の依頼や新会員も募集中です。

＜問合せ＞朝霧：090・8104・4229



● 岩槻蓮田地区更生保護女性会

女性の視点を活かして「社会を明るくする運動」に参加、地域の安全を求める更生保護施設等への支援をしています。また、非行防止のために小中学校へ図書をお届けしたり、啓発活動や子育て支援・見守り活動などに取り組んでいます。

＜問合せ＞田口：048・798・7126



● 岩槻囲碁連盟



私たち岩槻囲碁連盟は、岩槻区内の各囲碁団体との親睦交流を図る団体です。

小中学生や初心者を対象に、囲碁教室を開催し囲碁の普及活動を行っています。また、老人福祉施設での囲碁指導は、年配の方々の憩いの場としても好評いただいている。共に普及活動に参加していただける方は、ぜひご連絡ください。

＜問合せ＞井浦：
090・9001・3162





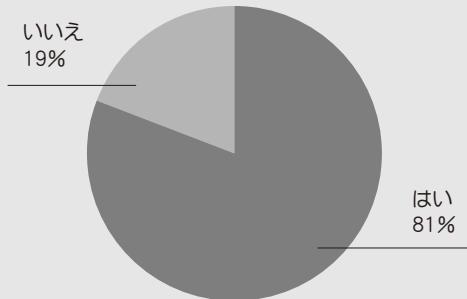
新型コロナウイルス感染症の 市民活動団体への影響に関するアンケート調査



新型コロナウイルス感染症による市民活動団体への影響を調査した結果をお知らせします。また、感染症対策を講じて事業を行った4団体の活動をピックアップして紹介します。

質問
1

10月1日現在、団体としての活動は行っていますか？



質問
1-2

質問1で「はい」と答えた方に伺います。
行っている活動、中止している活動をそれぞれ教えてください。

行っている活動

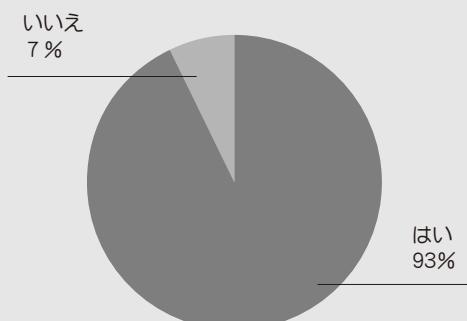
- 清掃、除草、花の手入れなど屋外での活動
- 人数を減らして教室を開催
- 昨年度とは実施方法を変え、人が集まらない形でのイベント実施
- 書面議決での会議
- 太鼓の練習（感染対策をし、回数を減らして実施）など

中止している活動

- 対面での学習支援
- 集会での食事会
- 調理実習
- 展覧会
- 参観研修 など

質問
2

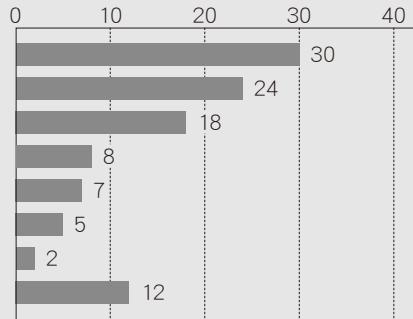
コロナによる団体活動への影響はありましたか？



質問
2-2

質問2で「はい」と答えた方に伺います。
どのような影響がありましたか？（複数選択可）

- 主催するイベント、講座、会議等を中止又は延期した
- 参加予定のイベントなどが中止又は延期になった
- 活動場所が使えなくなった
- 運営している施設を休止又は使用を制限した
- 利用者が減った
- 収入が減った
- スタッフのシフトの調整が困難になった
- その他

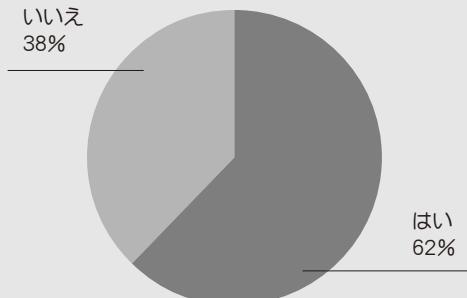


<その他の回答>

- 高齢会員の参加意欲の低下。
- 人数の多い定例会を減らしたり、場所で適当なところが少なく、困った。
- 対象が子どものため、どうしても密になる。など

質問
3

コロナ対策を講じたうえで実施した活動はありますか？



質問
3-2

質問3で「はい」と答えた方に伺います。
なにを、どのような対策をして実施しましたか？

- （花の手入れ）手入れする場所の担当者を決め、個々に作業する（一か所に集まらないように）。
- （和太鼓練習）マスクの着用、消毒、部屋の換気、水分補給にペットボトル支給など。
- （親子で虫探し）事前に体温の計測をして参加。スタッフは一週間前から検温し、記録した。など

質問
3-3

実施したことについて、
参加者・利用者からはどのような反応がありましたか？

- 3密にならないよう注意しようとの意識が強くなった（全員高齢者のためか）。
- 高齢で耳が遠い方との会話が、マスク着用でしづらくなつた。
- 「楽しかった」という言葉を頂いた。感染症対策を行ったことに指摘を受けることはなかった。など

調査の目的

新型コロナウイルスが社会全体に多大な影響を及ぼす中、市民活動ネットワーク登録団体の対応を調査し、情報を共有することで今後の活動に活かすとともに、広く区民に周知することを目的として実施しました。

調査対象

岩槻区市民活動ネットワークに登録している**59** 団体(令和2年10月1日時点)

調査期間

令和2年10月16日～30日

回答方法

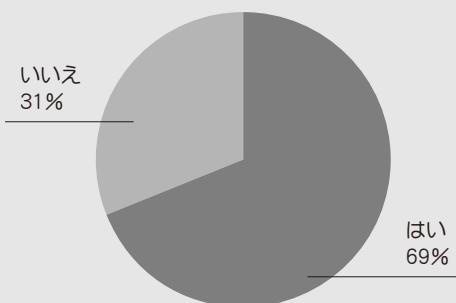
郵送配布・郵送回収（又はメール、ファックス）によるアンケート

回収結果

42団体（回収率：71.2%）

**質問
4**

コロナ禍で市民活動を行うにあたって、困難を感じたことはありますか？

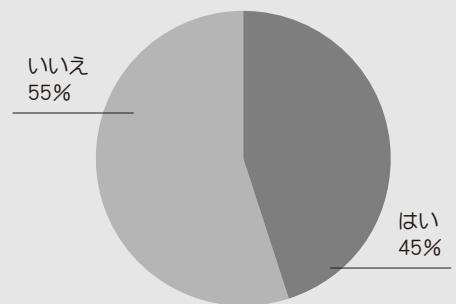
**質問
4-2**

質問4で「はい」と答えた方に伺います。具体的に困難に感じたこと、またそれをどのような工夫をして乗り越えたか教えてください。

- 会場の受け入れ人数が少ないので活動が制限されるため、複数の会場を使用した。
- 3密を防ぐためにフェイスシールドを購入し、マスク、消毒、健康チェックなど毎回きちんと対応しながら活動。
- 学習を予約制にし、飛び込み参加を受け入れない。ZoomやSkypeなどオンラインでの学習支援もできる条件があれば導入する。
- 会議をリモートにしたり、コミュニケーションをとるためオンライン飲み会を開き話合った。様々な意見を聞き、行動に移していく。
- 1年間（令和元年）の活動を記した広報誌をお届けした。
- 参加できない方に電話等で話すようにした。など

**質問
5**

コロナ禍での経験で、今後の活動に活かせることや新たな気づきはありましたか？

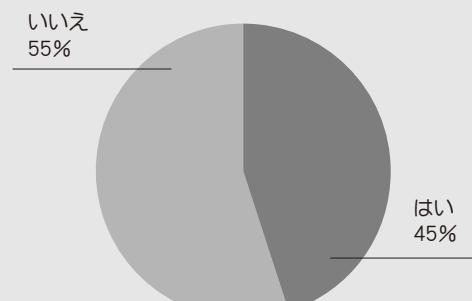
**質問
5-2**

質問5で「はい」と答えた方に伺います。
具体的にどんなことですか？

- ステイホームがつづく中、普通の生活のありがたさを知り、見直すきっかけとなつた。
- 情報共有の大切さ、グループLINEを使用しての情報共有。リアル会議をしなくてもある程度は物事を決めることができた。
- 提案力・企画力をつけたり、見つめ直すにはいい機会になった。
- 無駄な集まりや会議を減らすことにつながった。
- 会員間のコミュニケーションの取り方。メンバーにはITになじんでない方もいるので、郵便やFAXを改めて見直した。
- リモートは初め上手く行っていたような気がしたが、限界があると感じた。など

**質問
6**

行政に対して、支援してほしいことはありますか？

**質問
6-2**

質問6で「はい」と答えた方に伺います。
具体的にどのような支援をしてほしいか教えてください。

- 従業員に発熱が出たとき、解熱して何日ぐらい間をあければ、臨床に出しても大丈夫なのか指標を出してほしい。
- Zoomを使っての打ち合わせの仕方などの講座開催。
- 携帯電話は持っていても、便利な機能を使いこなせず孤立化を深めている高齢者や、ひとり親世帯の子ども達がいる実態を把握して、対策を講じてほしい。など

**質問
7**

その他ご自由にご記入ください。

- とにかく早くの終息を願うばかりです。
- ワクチンが早く完成し、供給できるまでは、マスク・手洗い・消毒・3密を防ぐ等、今までの感染予防策を各人徹底していくしかないと思っています。

いわつき国際交流会日本語プラザ (外国人の日本語学習支援活動)

Q. どのように事業を行いましたか？

A. 検温、フェイスシールド、マスク、消毒、換気、3密などに気を付けながら実施。受け入れ人数の削減、学習を予約制にし、当日の飛び込み学習希望者を受け入れないようとした。また、対応に限りはあるが、オンラインでの学習支援も始めた。

Q. 参加者からはどのような反応がありましたか？

A. 学習希望者の受け入れ人数を大幅に制限するため、希望者を断るのが大変だった。他の教室は閉鎖のままのところが多かったので、受け入れた方たちからは大変感謝された。

Q. 新たな気づきはありましたか？

A. どんな形でも活動を続けること、つながることの大切さを改めて感じた。予約、当日のキャンセル、スタッフへの連絡など、きちんと連絡を取り合うことがよりスムーズな活動につながることも改めて実感した。



岩槻ホタルの会 (ホタル観賞会)

Q. どのように事業を行いましたか？

A. マスク着用、検温及び参加者数の制限などを行った。また、大々的な広報は控え、パネル展示をとりやめるなど規模を縮小した。

Q. 参加者からはどのような反応がありましたか？

A. 各種イベントが中止になる中の開催だったので、大変喜ばれた。



アンケート結果を受けて

今回のアンケート結果から、多くの団体がコロナ禍にあって、どのように活動していくか対応に苦慮されたことが分かりました。

ITを利用して会員相互の意思疎通を行うなど工夫しながら活動していた団体がある一方、ITに不慣れなため活動が停滞してしまった団体もあり、高齢の方も多く参加する市民活動団体の持つ課題も感じられました。

特に、5月25日の緊急事態宣言解除後、少しずつ活動を再開する中で、久しぶりに顔を合わせて交流することに対する喜びの声が多く寄せられました。人と人とのつながりと社会貢献を大切にする市民活動団体だけに、顔を合わせて交流することの大切さを改めて痛感した次第です。

この広報紙を編集中の令和3年1月に、2度目の緊急事態宣言が発令されています。しかし、1度目の経験を活かし、この局面をなんとか乗り越えてくれると信じています。

今後、1日も早くこのコロナ禍が終息し、令和3年度は市民活動ネットワーク団体のパワーあふれる活動が再開できることを願っています。

コミュニケーションネットワークいわつき (小学生の学習支援活動)

Q. どのように事業を行いましたか？

A. 募集人数を半分に減らして実施。感染症予防対策マニュアルに沿って、スタッフ学習会を開催した。手作りの飛沫防止スタンドや、3密回避啓発イラストを使用するなどした。

Q. 困難に感じたことはどんなことですか？

A. 個人によってコロナに対する意識が全く違うことに苦労した。スタッフは様々な年代の人々いるため、感染後のリスクも全く違う。

Q. 新たな気づきはありましたか？

A. 子ども達の順応性の高さ。新しい生活様式下でも元気に活動している子ども達から元気を貰った。一方で、子どもの育ち（人格形成や人間関係の構築）に3密はとても重要なものではないかと思った。コロナ以前の日常のありがたさを知った。



岩槻地方史研究会 (史跡めぐり)

Q. どのように事業を行いましたか？

A. 乗り合いバスを使用したが、レジュメは手渡しではなく座席に置いて配布した。乗車前・降車時に手の消毒を行った。また、参加者募集を兼ねた機関紙で、参加の際はマスク着用・ソーシャルディスタンスを保って行動するようあらかじめ周知した。



Q. コロナ禍で活動を行うにあたって、どんなことを困難に感じましたか？

A. 史跡めぐり等への参加を呼び掛けることをちゅうちょした時もあったが、感染予防の徹底、参加者の連絡先を把握するなどの対策をとって事業を行うことができた。

令和2年度市民活動ネットワーク登録団体講演会

テーマ

「地域を育むネットワーキング」 多様な主体による連携・協働の地域作りのコツ

講師

萩原 なつ子 氏 (立教大学社会学部教授／大学院 21世紀社会デザイン研究科教授)

開催日

令和2年12月21日(月)

参加者数

17団体20人



地域における市民活動において、行政や他の団体と連携・協働することで多様なアイデアが生まれ、地域の成長につながることを、事例を取り上げながらご講演いただきました。市民活動をされている参加者の皆さんにとって、今後の活動をする上でヒントとなるものだったのではないかでしょうか。参加者からは、「他の団体と協力し新しい動きを作りたい」等の感想がありました。



●岩槻区市民活動ネットワーク登録団体 (令和3年2月1日現在 60団体)

自然・環境	埼玉県生態系保護協会岩槻支部	社会教育	さいたま市シニアユニバーシティ岩槻校校友会協議会
	NPO元荒川をきれいにする会		山吹の里多世代交流支援クラブ
	岩槻ホタルの会		さいたま市岩槻区倫理法人会
	和土住宅中央用水をきれいにする会		岩槻書道人連盟
	南平野ボランティア会		岩槻地方史研究会
	山吹の里づくりの会		NPO法人地域伝統文化推進機構
	半農生活サポートセンター		岩槻観光委員会
	トラスト7		岩槻ときめき文化の会
	グリーンバード開智小学校チーム		岩槻観光ボランティアガイド会
	リサイクルいわつき		岩槻の歴史を学ぶ会
まちづくり・国際交流	NPO法人岩槻まちづくり市民協議会	歴史・文化	岩槻黒奴保存会
	思いやりベンチ事業推進委員会		さいたま市岩槻美術家協会
	NPO法人ためぞうクラブ		NPO法人岩槻・人形文化サポーターズ
	いわつき国際交流会日本語プラザ		武州鉄道顕彰会
	岩槻は朝市からはじまる。の会		岩槻築城研究会
	いわつき水曜日本語教室		埼玉県郷土文化会
	岩槻市民協議会		彩画会
	人形のまちを創る会		彩美会
福祉	岩槻ものしり隊	音楽・子育て・防犯等	古文書を通して歴史を学ぶ会
	朗読ボランティア岩槻けやきの会		岩槻むかしばなし紙芝居の会
	NPO法人愛風（あいあい）		岩槻囲碁連盟
	NPO法人ほっとポット		やまぶき道灌太鼓会
	417corporation（シナコーポレーション）		岩槻音楽文化連盟
社会教育	生活サポートひなまち		コミュニケーションネットワークリークいわつき
	ギャンブル依存症を無くす会		NPO法人親子ふれあい教育研究所
	岩槻蓮田地区更生保護女性会		いわつき童謡を歌う会
	さいたま市岩槻区保健愛育会		西町青年会
	食生活改善推進員協議会岩槻支部		岩槻あそび隊つきぐるみ
	(社)倫理研究所家庭倫理の会いわつき		やまぶきっず
	布楽工房		岩槻区区民防災を考える会



令和2年度岩槻区市民活動ネットワークまちづくり
推進事業補助金を活用した事業を紹介します ※【】内は事業名



山吹の里多世代交流支援クラブ 【多世代交流と孫育て】

山吹の里多世代交流支援クラブは、0才～小中学生と保護者が交流する子育て支援の広場です。子どもたちは、七夕、さつまいもほり、クリスマス、お正月あそび、おひなまつり等の行事を工作やリズム、絵などいろいろに表現して遊びます。その時々のことばも年齢に応じて各々の気づきが、学びとなっています。



NPO法人岩槻まちづくり市民協議会 【岩槻の魅力探し講座&岩付城主太田資正公普及啓発事業】

江戸時代の軍記物にも頻繁に登場するヒーロー「戦国武将太田資正（おあたすけまさ）」学習会（3回・延べ147人）を開催しました。これをきっかけに、生誕500年祭の開催（令和4年2月開催予定）を進める実行委員会の設立という盛り上がりを見せてています。



岩槻区市民活動ネットワーク まちづくり推進事業補助制度とは

岩槻区では、岩槻区の魅力あるまちづくりのために市民活動ネットワーク登録団体が行う区の特性を生かした事業や、コミュニティ活動の活性化につながる事業などに対し補助を行っています。詳しくは、岩槻区役所コミュニティ課へお問い合わせください。

対象となる団体

「岩槻区市民活動ネットワーク」に登録している団体

補助金の額

対象の事業経費の2分の1の額の範囲で10万円まで（千円未満切り捨て）
※飲食代など対象外経費あり。

申請方法

4月1日～23日に申請書類を揃え、
コミュニティ課へご提出ください。

協働のまちづくりに 参加 しませんか

市民活動ネットワークは、岩槻区を拠点に、協働のまちづくりを目指して様々な市民活動を行っている団体を登録し、支援する制度です。登録すると、次の支援が受けられます。

- 区役所多目的室の利用
- 市民活動に関する情報提供
- 意見交換会の参加案内
- 団体活動のPR
- 団体運営の相談
- まちづくり推進事業補助制度

登録などについては、岩槻区コミュニティ課にご相談ください。

